215979
3
昭和25年10月18日

魯西戰報第一號

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3

魯土ノ近況第三拾號十一年六月二十九日發

伯林府ノ公會ハ既ニ七ハ回ヲ經テ昨今漸ク「ボルガリヤ」ノ一題案ヲ了セリ此案ハ今次會議中ニ就キ魯國ノ利益ト英澳二國ノ利益ト相容レザル所ニ係ルヲ以テ斯ク長引キシナリ然レドモ魯ハ遂ニ英澳二國ノ要求ニ從ニシヲ以テ此一難事ヲ了レタレハ八日後ノ會議ハ復(マタ)破解ニ至ルベキノ患ナシト謂フモ可ナリ是レ昨今全歐州ノ景況取次ニ安穩ノ色ヲ見ハセシ所以ナリ

「サンステフアノ」ノ和約中ニ称スル新「ボルガリヤ」侯國ハ「バルガン」嶺ノ南北ヲ慈括シテ北ハ「ダニューブ」河南ハ「エゲアン」海ニ達スルモノナレ

ドキ今次公會ノ決議ニテ「ボルガリヤ」候國ナル
者ハ北ハ「ダニユーブ」河ニ起リ南ハ「バルガン」嶺
ニ至リテ止ミ嶺南ハ一個ノ自治州トナリ直ケ
ニ土帝ノ管下ニ屬スル者トナレリ時ニ是レ而
已ナラズ土ハ「バルカン」嶺ノ要害ニ疊壁ヲ築キ
之ニ守兵ヲ置キ以テ自ラ防禦スルノ權利ヲ得
タリ嶺南ノ州即ケ是レ迫一名「ルーメリヤ」ト唱
ヘ來リシ州ニ與フベキ新號ハ未タ定マラズ仏
國全權使ハ之レニ東「ルーメリヤ」ノ名称ヲ命セ
ンコヲ首唱セリト云フ
「ボルガリヤ」ヲ二個ニ分ケ「バルカン」嶺ヲ以テ之
レガ境ト為スノ案ハ公會ノ開キ以前ニ魯英二
政府間ニ於テ和談既ニ整居タリシヨトナル

ハ前日「グローブ」新聞ニ出デシ魯英二政府記名
ノ覚書ナル者ニ判然記載アリテ世人ノ夙ク知
了セシ所ナリト雖ドモ土國ヲシテ「バルカン」嶺
ニ寨ヲ築キ守兵ヲ置ノ權利ヲ得セレメレハ今
次ノ會議ニ於テ英國全權使「ロルドビーコンス
フヒールド」ノ首唱ニ係リ而シテ漠使「コーント
アンドラシー」側ヨリ之レヲ贊成セラレタル者
ナリ
英使ノ此議ヲ発スルヤ魯使「シユロフ」ハ當日
(チヤーコフ」氏ハ病ヲ以テ欠席セリ)此事ノ「バルカン」嶺南
ノ基督民ニ害アルト將來救援ノ斷ヘザル根源
トナルベキ理由ヲ抗議セシト雖トモ「ビコンス
フヒールド」ハ公言シテ曰ク予ガ伯林公會ニ來

リシハ土國ノ保存ヲ擁
スル為メニシテ之ヲ
減ゼシムル為メニアラズ之レガ保存ヲ擁セ
ンニハ其國境ヲ確定シ彼ヲシテ防禦ニ便ナル
ノ地ヲ與ヘザルベカラズ我ガ此要求ヲ承諾セ
ザル者アラバ日後ノ公會ハ我ニ於テ無益ナリ
ト威ハスノ此時議長「ビスマルク」ハ「ビーコンス
フヒールド」ニ少シク遜譲アランコトヲ勧メシ
ニ同氏曰ク遜譲スベキ者ハ予ニアラズシテ別
ニ其人アルベシト、是ニ於テ魯使ハ英ノ要求ガ
訓状外ニアルヲ以テ更ニ魯帝ノ特許ヲ俟ザレ
バ同意シガタキ旨ヲ演ベテ其席ヲ終レリ是レ即
チ五六日前当府彼得堡
ニ於ケリ一般ニ不穏ノ色アリシ
所以ナリ蓋シレテ魯帝ハ魯使ニ命シテ英ノ要
求ニ従ハシメタリ
英ガ土ニ斯ル権理ヲ得
ヲ與ヘ以テ土ヲ
確守スルヲ得セシメ以
テ土國ヲシテ印度ノ外
郭タラシメンガ為ノナ
ノ一大勝利タルハ欧州一般ニ称誉スル所ナリ
然リト雖ドモ土ハ「バルカン」ノ喉ヲ保存スルヲ
得タレバトテ之レヲ以
テ高枕スルヲ得サルハ
勿論ニシテ「ダニューブ」河ノ要害ヲ并有セシ時ニテ
モ今日ノ敗ヲ致シタレバナリ古人云フ徳ニ在
ツテ嶮ニ在テズト大
抵「バルカン」ノ嶮ト徳トハ両ツナガラ
相待ツベキ者ナルヲ以
テ一ヲ欠ケバ則チ不可
ナリ況ヤ二ツナガラ之
ヲ欠クニ於テハ一日モ

國ヲ爲サヽルベシ土ハ今幸ニ英澳二國ト密
ニ籍テ以テ其旧領タル要害ノ一ヲ保ツヲ得タ
レバ「バルカン」以南ノ州政ハ尤モ其國將來ノ存
亡ニ関係アル者ナリ英澳二政府ハ固ヨリ深ク
此ニ見ルアリ故ニ此州ノ土帝ノ管下ニ属スベ
レト雖モ之ニ自治ノ権ヲ與ヘ以テ州政ヲ改良
シ以テ其民ヲ安ンセレハ「ルーメニヤ」ノ州政案ニ就テハ土國ハ殆ンド喙
ヲ容ルヽ能ハザルベシト雖モ英澳ノ細目ハ公會ニ於
テ商議未ダ進捗セサルヲ聞カス蓋シ是ハ他日ノ
議ニ譲リテ公會ハ是ヨリ直ケニ「モンテネグロ」ノ議案ニ従事スベシ
「セルヴィヤ」「ローマニヤ」

ト云フ土ハ「バルカン」ノ要所ニ守兵ヲ置クヲ得
ルト雖ドモ「ルーメニヤ」州中ニ兵ヲ置クヲ得ズ
此州兵ナル者ハ固ヨリ其地ノ民ヨリ取ル所ニ
シテ其兵ノ編制ハ六大政府ノ商議ニヨツテ定
ルベシ過日土ノ全權使ハ州兵ノ士官ヲ撰ブノ
權ヲ土帝ニ歸セシコトヲ要求セシト雖ドモ其
議ハ容易ニ行ハレサルベシ、否、多分拒絶セラル
ベシ況ンヤ同州鎮台撰挙ノ如キハ尚更各大國
ニ頼ラサルヲ得サルベシ土國ハ論ナシ此他刑法税
則等亦皆然ルベシ土國ノ紙工憲法ハ銭ニ直セ
ザルヿ明カナリ

魯政府ハ前文ノ如ク「ボ
ソフヒヤ」府ヲ以テ「ボル
ガリヤ」一案ニ付英澳
二國ノ要求ニ従ヒシガ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3

カリヤ」候國ニ附スルノ案ハ英澳共ニ魯ノ要求
ニ從タリ本日ノ日報ヲ見ルベシ

「ローマニヤ」領「ベッサラビヤ」一案ハ英政府ハ始
メヨリ自家ノ利益ニ関セサルヲ以テ深ク之レ
ニ意ヲ注カス澳政府ハ現ニ此件ノ不同意ヲ以テ公會ヲ破ル程ノ決心ハナ
カルベシサレバ「ローマニヤ」拳國ノ民皆不同意
ナルモ力足ラスシテ遂ニ魯ノ要求ニ曲從スル
ニ至ルベシ近報ニ拠ハ魯ハ「キリヤ」口「ガロ」河三口
ノ一占ヲ恢復シ「スリナ」口ハ依然「ローマニヤ」
ニ譲リ置クノ見込ナリト此説ヲ信シテ真ナラレ
メバ「ローマニヤ」國不幸中ノ幸ト称スルモノ可
ナリ

「アシチリ」港ヲ「モンテ
澳政府ノ不同意ナルハ先使二十九号ニモ記載セ
シ如シ但シ「スペツア」ノ
ニ於テ異議ナカルベシト云フ或ハ云フ「アンチ
ロリ」ヲ弥「モンテ子グロ」ニ與フルコトニ定マテ
シトマハ澳政府ハ特別ノ規條ヲ確立セシ上ナ
ラハ曲從セザルベシ此件ハ定テ今明日頃
會議ノ席ニ上ルベシ

過日英國新聞「グローブ」ニ載セタル英魯和談ノ
内約書(覚書)先使二十八号ニ記載セレ十ケ条是ナリ此書ハ「ロルドサリスボリ」ト「コ
ーントシェワロフ」ノ記名セレモノナリ

真物ナルヤト知渡リテ多少不都合ヲ釀シタリ即チ澳政府ハ之ヲ以テ英ニ對シ不満ヲ抱キタリシガ英使ハ

伯林ニ着セシ以来特ニ「アンドラシー」氏ト結ビシヲ以テ墺ノ意ハ大ニ釋ケ今ハ二国殆ド怪心ニ至リシヲ以テ其影響ハ轉メ魯ニ及ベタリ過日迫ハ此書ノ世出セシヲ以テ魯政府又同ノ策ニ出レル者ナリトテ咎ヲ「シエワロフ」氏ニ歸セレ説多カリシガ石ハ全ク寃罪ニシテ其実ハ英国外務省ノ書記「マルフェルメニヤ」方面ノ一案ツ此案ニ異議ヲ容ルベキ者ハ独リ英政府ニ限ルベシト雖氏石「グロードブ」新聞ニ載セタル内約書ノ通リ魯ハ英ノ要求ニ応ジ三致シテ「バヤゼットヲ」土国ニ還スコトニ決シテ而シテ英ハ魯ガ「バツム」港ヲ得ルヲ妨ケザルベシト「ボスニヤ」「ヘルゼゴフィナ」ノ二州ハ墺国ノ版図ニ入ルベシト云フ墺ハ事定マルノ日迫同州ニ假拠スベシト云フ或ハ云フ説未ダ何レカ是ナルヲ知テズト雖トモ墺政府ガ二州ヲ并セントノ見込ハ数月前ヨリ数次其鋒ヲ見ラハセシモノナリ

「ルーメリヤ」自治州（オートノミー）ハ「ガアン」海ニ達スルヲ得サルヲ之ヲ惜メリ雖モ今日ニアルヲ前定シ難シト雖「ボルガリヤ」ノ一難案ハ其大綱ハ已ニ定

リシヲ以テ此他ノ題案ハ日ヲ逐ッテ緒ニ就クベク而シテ「ボルガリヤ」侯國及「ルーメニヤ」自治州ノ境界ハ政州ノ主任官実地ニ就ヘテ取極ムベキヲ以テ公會ハモハヤ甚タ長カラザルベシトノ説多シ或ハ云フ諸議案ノ大綱定マリタル上ハ各國ノ太政大臣等ハ伯林ヲ去リ二等全權使ヲ遣シテ以テ細目ヲ定タメシハ可レトノ云フ

初メ公會ハ隔日ニ開席ノ由ニ聞ヘレガ或ハ二日ヲ隔テシテアリ或ハ日ヲ連テ子レコトアリ等カラズ、又各國全權使ハ公會ノ餘ニハ常ニ晩餐若クハ茶話ニ往来シテ公席ノ内掛合ヲ為シ居リ、又公會ノ席ニテハ佛語ヲ用エルコトニ定マレリト聞ヘシカ「ビーコンスフヒールド」氏ハ前日英語ヲ以テ演説セシコトアリ魯國ノ新聞ニ、ビーコンスフヒールド」ハ佛語ヲ解セザルニ付止ムヲ得ズ自國ノ語ヲ用エルナリト、又公會ノ席順ハ洋字ノ順ニ従ヘテ定メ而シテ机案ハ揩圓ナリト

「ギリシヤ」國ノ全權使ハ其ノ國事ニ関スル議案丈ケ出席シテ商問ニ備ヘルヲ得タレドモ其ノ他ノ諸侯國ノ全權使ハ未ダ席ニ出ルヲ得ルノ許可ナシ

初メ「イクナチエフ」氏「サンステファノ」ノ假約ヲ結ビシ時ニ当ッテ魯國ノ輿論ナル者ハ此約ヲ以テ自讓ニ過ギタリトシテ甚タ不満ヲ抱ダキ英

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3

政府ノ政畧ヲ認テ虚喝ト為シ此大勝ニ乗ジテ
一刀両断ノ處置ニ出度ケレトテ嘖々セシガ
何ゾ知ラン欧州一殊ニ英現在政府ニテハ石ノ
假約ヲ以テ不當極ト做シ遂ニ英澳二政府ハ
各六百万「ポンド」ヲ出スニ至リ而シテ響キノ輿論ナル者ハ爾後屢次
変換シテ今ハ皆烟ノ如ク消失セ黙然手ヲ叉シテ
一日モ早ク和談ノ整フヲ待テリ偖又英國ニテ
モ此種ノ痕跡ナキニアラズ彼ノ自由黨ハ勉メ
テ政府ノ所為ヲ咎メ魯ニ與ミシ土ヲ仆サント
シ或ハ魯ト兵ヲ交エルニ至ラハ「キリミヤ」ノ戦争ヲ詈コトアランヲ畏レ遠ク
ハ「キリミヤ」ノ戦争ヲ詈リ近クハ印度ノ出兵ヲ
咎メシガ今ハ自國ノ勢威日ニ熾ニシテ魯國ヲ
壓倒スルノ壯アルヲ見テ漸ク泣寐入リタル間
或ハ負ケ惜ミノ説ヲ立テ新聞或ハ論者アリト
雖モ復甚タ多カラズ之ヲ五尺ノ墻内ヲ窺フニ
譬フレハ低矮者ハ千百人アリト雖トモ墻ヨリ長高
キ一人ニ如カス、今次ノ公會ハ大半英ノ意ノ如
ク局ヲ了ルヘク而シテ英國二十年来堕地ノ威
望ハ後此盛ナラン雖ト然魯英ノ間ハ歆視ノ心益
深カルベシト信ス

明治十一年六月六九日

寺島外務卿殿

榎本武揚

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3

魯土近況日報

六月十六日

伯林十四日今明日ノ両日ハ全権使等各其ノ自國ノ利益ヲ説キ明カスノ為ノ專ラ別々ノ談判ニ從事スベシ、阮ニ魯墺両國間ニハ數多ノ疑問ヲ就キ一致整ヘリ

同所同日阮ニ通知セシ如ク各大國ノ内一國モ欧州尊二等等三等ノ國メントノ酌ヽメヲ為ンヽ此等ノ各小國ハ頻リニ公會席上ニ於テ各ク其所見ヲ披露センコトヲ請求セリ尤モ希臘國ハ「ロー」ヤニ「ヤ」「セルビヤ」及「モンテ子グロ」國ノ同等ニアラザルヲ申立テ參會ノ請求ヲ主張セ

工部省

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3

又曰ク各全權使等ハ「ロー マニヤ」ニ於ケル猫太民ノ權理ヲ等ノ認可ヲ主張ズベシ「プリンスビ スマルク」モ猶太人民同盟社ノ方ニ荷擔スヘント

龍動十四日「レイテル アゲント」ノ報ニ「グローブ」新聞ハ日ケテ責任ヲ荷省ニ於ヘテ「コーントレロフ」並ニ「マルキー ズ サリスホ」ク調印シタル英魯二國一致ノ公書ヲ布告セリ此公啓ノ意ハ五月三十日「グローブ」新聞ニ於テ既ニ布告シタルケ条ト稍同一ナルモノナリ而テ同新聞ハ等ニノ公啓ヲモ布告セリ其文ニ英國ハ「ホリガリヤ」兩州ノ政事向ニ容喙スルヲ要求スベシレト、英魯兩政府ハ「ホリエス、ダルゲント」ノ報ニ「グローブ」ヲ同意セリ

龍動十四日「レイテル アゲント」ノ報ニ五月三十日英國外務新聞ニ於テ布告シタル英魯二國ノ公書ノ文ニ曰ク第一公書ハ左ノケ条ヲ公會ニ持出スベシ

第一英政府ハ「ホルガリヤ」兩州ノ州政編制ニ各國ケ条ニ參與セン スベシ

第二英政府ハ公會ニ於テ魯兵ガ「ボルカリヤ」ヲ守領スルノ期限並ニ性質且ツ魯兵ガ「ローマニヤ」ヲ通過スルコトノ疑問ヲ商議ニ掛クベシ

第三英政府ハ「ホルガリ」ヤ」南半州ニ名称ヲ與ヘ
ルコトヲキ公會ノ商議ニ掛クベシ
第四英政府ハ國境ヲ論セスレラ單ニ「ダニユブ」
河通航ノ疑問ヲ商議ニ掛クベシ
第五英政府ハ疑ベテ海峽ニ関スル疑問ヲ商議
ニ掛クベシ右トキ在英魯大使ハ魯政府ハ
千八百七十七年五月六日付ヲ以テ「ロルド
デルビー」ヨリ申立テタル旨ヲ保守スベシ
ト申出テタリ且ツ魯國全權使ハ公會ニ於
テ石海峽ノ疑問ヲ依旧ニ置カンコトヲ主
張スベシ
第六英政府ハ「アホーラ」ニ於ケル各民種ノ僧
侶ヲ同様ニ守護センコトヲ主帝ニ希願ス

ベシ
同十七日
伯林十五日希臘ヲ公會ニ加入スルヲ許可セリ
ノ説ハ無根ノ浮説ニテ近カン、凡聞ニハ土國ノ
全權使ハ「ボルガリヤ」候國ヲ自國ノ管下ニ属ス
ルコトヲ主トシ且ツ「ダニユーブ」河水運ノ支ニ
就キ從前ノ權利ヲ保存センコトヲ要求スト是
レ則チ土政府ハ其軍艦ノ「ダニユーブ」河中ヲ通
航スルノ自由ヲ存スルコトヲ強請スルナリ然
レドモ同政府ハ「ボルガリヤ」ノ境ヲ築ムルコト
及ヒ「ルメリヤ」ヲ土國ニ領スルコトヲ承諾セ
リ
伯林同日「デリアニユ」希臘ノ外務ハ「ロビール」ヘ「ル」

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3

ゲー」海岸「サロー ニツク」ヲ籠メ「アホーン」山マデ其ノ外「ロードスト」「サモス」及ヒ「ヨス」嶋ヲ要求スル覚書ヲ公會ニ持サ出リ

伯林同日伯林府ニ来着セシ「セルビヤ」及ヒ希臘人等ハ自國政府ノ昏面ヲ憚ルニ依頼セシニ同氏ハ彼等ハ其總親ノ國々ノ手ヲ経テ自國ノ要求スル所ヲ公會ニ出タスベシト答ヘタリ、「ローマニヤ」人等ハ英國サヘモ其要求スル所ヲ助ケサルヲ悲メリ「ビーコンスフヰールド」氏ハ第一會議ニ魯兵ト「ローマニヤ」兵ノ互ニ相遠サカルコトヲ要用トスルノ議ヲ陳セリト

伯林十六日当府ニテ衆皆「ロールドビーコンスフヰールド」ト「ブリンスビ」ヲ「ヤコフ」ノ交際未タ親和セサルニ注目セリ「ビスマルク」氏ノ第一手段ハ英魯ノ間ニ抵觸ヲ起サシメ孤立クニ在リ、現今ノ模様ニテハ公會ハ六週間モ續クナルベシ、日政府ハ公會ニ千八百五十六年、千八百七十一年及ヒ「サンステファノ」ノ條約ヲ持出セリ

同十八日

龍動十七日「タイムス」新聞ヘ伯林ヨリノ報ニ曰ク「ガローブ」新聞ニ記載シタル魯英一致ノケ条中ニ英政府ニテ抗議セシコトハ「コーントレエロフ」ノ立案ヲモ載セタリ、「イテルアゲント」士君士

坦丁府ヨリノ報ニ曰ク
シテ曰ク若シ會議ニ於
ヤ」「ボスニヤ」ヘ自治（オートノミー）ノ權
ニ於テハ土國ハ寧ロ「サ
ヲ守ルベキ旨ヲ言出ス
伯林十七日昨日英國並
兵ヲ「サンスデファノ」ヨ
レトノ報アリタレドモ
何タル談判モアラサル
ベシ
「モンテネグロ」國ヘ「アン
ニ對シテ伊政府ハ未タ
ス、今日各全權使ハ黒服
ガンガトン」氏巴里ニ送リシ昏中ニ曰ク事件ハ
平和ニ治ムベキ望アリ深ナガラ會議ハ多分長
引ベシ、然議案ノ決着ニ至ルハ少クモ五週間或
ハ六週間ヲ經ザルヲ得
全權使ハ「プリンスビ
ナク公平ニ仲裁スルコト
内ノ砲塞ヨリ、土兵ヲ引拂ヒタコト並ニ「ホルガリ
ヤ」ノ問題ニ付大ナル難事起レリ、土ノ全權使ハ
岡ク「サンステファノ」和約ニ及對ス、又曰ク今日
會議ニ於テ「ロードマニヤ」「セルビヤ」「ギリシヤ」ヲ會
議ニ加ユベキヤ否ヤノ問ニ起レリ初メノ二國
ハ何レニ決スベキヤ其席ニ加ハルヲ得サルモ
難計「ギリシヤ」ハ只已レノ請求ヲ陳述セムル

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3

為メニ必ス加ハルベシ

同十九日

伯林十八日、昨日公會ニ於テ各全權使ハ「ガリン
スビスマルク」ガ編制シタル公會評議順序ノ定
則ヲ承諾シテ可トセリ石定則ケ条中ノ一ニ曰
ク公會ニ於テ商議ニ掛クベキ一疑問ヲ出ダス
毎ニ次ノ国順ニテ其所見ヲ述フヘシ即ケ魯英
墺佛独伊土ナリ、是ノ如クシテ後ケ公會ハ「サン
ステファノ」條約ニ付一般ノ評議ヲ始メタリ国
ヨリ石評議順序定則ニ基キ最初ニ「コーンストン
エロプ」氏其所見ヲ述ベタリ同氏ハ第一ニ先
ツ目今東邦紛擾ノ由来ヲ説キ戦争ニ立至リタ
ル其根源ヲ解シテ今度魯國カ土國ニ對シテ

軍償金ヲ要求スルノ権理ヲ證セリ且ツ同氏ハ
未段ニ至ツテ過日英魯両政府間ニ取定メタル
同意ノ趣ヲ読ニエケタリ其ノ意ハ第一ニ「ボル
ガリヤヲ二州ニ分ツコト第二ニ「バルカン」山脈
以南「ボルガリヤ」州ノ西南境ヲ削断スルコト、独
墺伊佛ノ全権使等ハ公會開席ノ間一時英國船
隊ヲ「ベシカ」港マデ魯兵ヲ「アドリヤノツボル」マ
デ同時ニ退カシメント勧メラレタリトノ
云フ

公會ニ於テ英國ノ主張スル所ハ「ボルガリヤ」縦
断シテ二州ニ分ケ「ヤシタ」河ニ沿ヒ「シプカ」峠
ヲ経テ「アドリアノツボル」ニ至ル西ニ向ケテ二州ノ
境線ヲ別キテ二州ノ境トナシ且ツ「ボルガリヤ」

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3

東半州ヲ四寨（「ルスチエ」「ムラ」「ワールケ」）並ニ黒海ノ海濱ト共ニ土國ノ権内ニ置カントスルニ在リ、若シ如是クバルカリヤ」ヲ二州ニ分ツトキハ西「ボルカリヤ」ハ「ダニユーブ」河ニ沿ヒテ「セルビヤ」ニ至リ「ローマニヤ」、土耳古ノ間ニ孤立シ東南ヨリ土國ニ取囲マレテ防禦ナキ僻地ノ一州ヲ為スニ過ギズ、斯ル立案ハ「ミザリー」ヨリ出ツルトパシヤ」ノ意ニ出ツルト云ヘ共、墺國ハ「ボルカリヤ」ヲ二分スルコトヲ主張スト雖トモ若シ英政府ノ意ノ如ク「ボルカリヤ」ヲ二分スルコトヲ主張セバ、ルカン」山沿ヒテ南北二州ニ分タンコトヲ主張ス、魯政府ハ「ビルムラ」及ヒ「ワルナ」ヲ土國ニ残シ置クコトニ不同意ナリ且ツ同政府ハ極メテ詰リタル処ニテ「ボルカリヤ」ノ横断ヲ承諾スルガリヤ」ノ横断即チ「バルカン」山沿ヒテ南北二州ニ分タンコトヲ主張ス、魯政府ハ「ビルムラ」及ヒ「ワルナ」ヲ土國ニ残シ置クコトニ不同意ナリ且ツ同政府ハ極メテ詰リタル処ニテ「ボルカリヤ」ノ横断ヲ承諾スルニ而已

同二十日

伯林十九日、本日ハ意外ノ事ヲ聞キシ日ナリヲロルドサリスボリ」ガ頃美語ヲ出セシニヨリ各國皆ナ始メテ是マデ英魯両國ノ一致ニハ別様ノ趣意ナリシナルヲ伺知ルヲ得タリ抑モ両國ノ全権ヲ公會ニ派出セシハ実事ヲ識決スル為ノミニテ言語ノ争ヘヲ為スニ非ズト豫望セシガ「グロローブ」新聞ノ公告書

ト其外證ス可キ條件ニ因テ衆皆新タニ両國ノ
文誼ニ日ヲ刮フコトナレリ今ニ至テ考フレバ
最初ニ両國一致ノ風アリレト即チ文際家ノ詐
術殊ニ英國ノ権謀ト謂ハ公會第一會ヨリシテ
ハスヲ次テナリ已ニ英國ノ朋友タル各國人等
ノ眼中其政畧ノ尊ブベキモノヲ見ズ現ニ英國
ハ土國分割論ニ就テ我ガ見込ヲ述ブルコトヲ
欲セズ且ツ東邦款問ヲ惣テ欧州一般ノ評決ニ
推レテ已ハ常ニ暧昧ヲ事トセリ幸ニ「グロードン」
新聞ノ公告書アリシヨリ英國ノ腹中ヲ見破リ
却テ魯國ノ信ヲ公會ニ得ルノ端ヲ開キ衆人ノ
敬信セレ英國諸卿等ハ公正ノ趣意ニ非スシテ

全ク土耳格ヲ其掌握中ニ置カントスルノ意タ
ルヲ證スルヲ得タリ
「マルキーズサリスボリ」
ヲ忘信シ不快ヲ抱キシヲ察シ之レヲ和解スル
ヲカトシタリト思ハルヽ
「コーントアンドラシー」
ハ公會ニ赴ク前ニ英魯一致ヲ開キ自國ノ兵
ヲ備ヘシガ現今ニテハ墺國文際家社會中ニ左
ノ風説アリ「サリスボリ」ト「アンドラシー」ハ英墺
両國一和ノ約ヲ結ビ此約ニ因テ墺ハ欧羅巴土
耳格ニ権力ヲ及ボシ殊ニ「バルカン」半島ノ西竿
ニ其威ヲ振フヲ得タリ
本日ハ公會ニ於テ「ボルガリヤ」疑問ノ判決アル
ベシ「ミサットパシヤ」ハ君士坦丁府ヘ近日帰ル

トノ風説アリ

同廿一日

伯林二十日昨日ハ「ボルガリヤ」疑問ノ評議引續ケリ墺ハ魯國駐兵ノ「ボルガリヤ」中ヨリ引退クレメ今般ノ和約成リ次第「ルスチユック」及ビ「ウイデン」ヲ直チニ引揚ベシトノ議ヲ発セリ英國ハ最初駐兵ノ數ヲ二萬人マテニ減レ而レテ和議整頓後魯兵ノ「ボルガリヤ」境内ニ滞在スル期限ヲ六週間ト定ムルノ議ヲ起セレガ現時ノ模様ニテハ英ノ交際家等ハ墺ノ評議ニ同意シタルガ如シ、予ガ昨日ノ通信ハ今日種々ノ根源ニテ一層確然タリ、英ハ墺ノ信ヲ得ルノカメタリレガ現ニ其効ヲ得タリ、議者等ハ殊ニ「ビーコンスフヒール ド」ト「アンスナヒール ド」ノ間ニ極遅ノ交誼ヲ復セシニ注目ス、「ガリンスボルチヤヲフ」ハ其實ニ喪カヲガ昨晩「ガリンスボスマルク」ヲ參會セリ、本日ハ機密會議日ナリ格敦ノ新聞ナシ

同二十二日

土京二十一日昨日ヨリ「ホスマンバレヤ」ノ行衛知レズ風説ニ拠レバ同氏ハ捕ハレテ陸軍省中ノ一隅ニアリト近衛兵ノ長ニハ「レウトフバシヤ」命セラレタリ土京ニ在ル諸兵ハ各自其隊ヲ離ルベカラズトノ嚴命ヲ得タリ

伯林二十日、希臘國ノ利害ニ関渉スル疑問ニ付

其意見ヲ述ベシムル為メ
ノ席ニ加ハラシムルノ
ノト看做シテ可ナリ此件
喝ニ係リ各國モ之ニ同
佛ハ同シ趣意ヲ以テ同件
別々ニ言出セシナリ偖
會議ノ席ニ招ヲクベキヤ
見計フベシ
伯林二十一日東邦疑問ニ
ノ全權使等ノ望ミニ由リ
延ベタリ石全權使等ハ「ボ
日頻リニ談判中ナリ又日
府ヘ発セラレタリトノ説
ハ虚ナリ同氏ハ当府

日國ノ全權使ヲ公會
件ハ既ニ整ヒタルモ
ハ英國並ニ佛國ノ首
意セリ但シ英並ニ
ヲ主張セリト雖ドモ
「ギリシヤヲ何様ナル
ハ議長自カラ之レヲ

在リ
龍動二十一日上京ヨリノ
政府ト「ボスニヤ」避難民ヲ
判ヲ打切リタリ埃ハ此件
積ナリ又「エルゼゴルム」ヨリ
シヤ」ノ兵ハ厳ク隊伍ヲ整
タリ、又「ゼチテルラザレ」ヲ
其台場ヲ各ノリ

同廿三日

伯林二十二日本日公會ノ
尚最後ノ評論ニシテ一通
ハ「ボルガリヤ」ノ境ヲ「バル
トレ土耳格ヲシテ南「ボルガ
リヤ」ニ兵ヲ置クノ

評議ハ「ボルガリヤ」疑
リ決定セリ英墺二國
ン」山ノ北羊服ニテ
ガリヤ」ニ兵ヲ置クノ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3

権利ト「バルカン通路ニ寨ヲ構ヘ成兵ヲ置クヲ得セシメンコトヲ申立テタリ魯ノ全権使等ハ此申立ヲ一應聞キ置クト雖モ「バルカン」以北ニ帰陣セル魯兵ノ期未ダ定マラズ、尚會ノ節ハ「ピーエンスフ」ルド」ハ目國政府ヨリ「バルカン」以北ニ帰陣ノ為メ君士坦丁府近ヲ引拂フトキハ英國艦隊ヲ「マルモラ」海ヨリ直ケニ引去ラレハ魯ノ全権使等ハ前議ノ如ク退陣スル旨公言セリ、魯ノ全権使サルニ由リ此ノ疑問ハ未タ決セザルモノニ附セリ

魯ノ全権使等ハ右ノ二件ニ決答スヘキ為メ伯

徳堡府ニ届書ヲ送リ新國全権使等ノ状態因却龍動二十二日「タイムス」ト」ヨリノ左ノ電報ヲ記セリ、英魯埃ノ全権等ハ今夕公會ノ批准ヲ為スノ意アルベシト「ボルガリヤ」境ルヿ、土耳格ハ「バルカン」山マデニ限リ「バルカン」通路ニ寨ヲ構ヘ要害ノ地ヲ占メムルノ権ヲ得ルコト、「ソフヒヤ」ハ「ルーメリヤ」ノ領内ニ入ルコト、「ロウルナ」ハ「ホルガリヤ」領内ニ入ルコト、「ブルガス」ヲ自國ニ領スルヿヲ得ルヿ、「モンテネグロ」ノ北境及ヒ「セルビヤ」ノ境ハ豁メラルベキ其代トシテ彼等境ハ南方ニ擴ムルヲ得ベキ事

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3

同七四日

伯林二十三日昨日ノ會議ニ於テ「バルカン」山脈南「ボルガリヤ」州ノ境界ハ（ママ）敷ケ所ヲ土國ニ渡シスルヲ得セシメ且ツ守兵ヲ置クコトヲ認可セリトノ説ハ真ナリ此疑義ヲ生ン各全權使等モ殆ンド分散セントスルニ至リタリ同事件ニ付「ロルドビーコンスフヒルド」ハ公言シテ曰ク予ガ伯林公會ニ來リシハ土國ノ保存ヲ援護スル為メニアラザルナリ土國ノ保存ヲ援セシテ土國ヲ廃滅スル為メニアラザルナリト

為メニシテ土國ヲ廃滅スル為メニアラザルナリト定メ又「バルカン」山脈南「ボルガリヤ」州ノ境界ハ（ママ）數ケ所ヲ土國ニ渡シスルヲ得セシメ且ツ守兵ヲ置クコトヲ認可セリトノ説ハ真ナリ此疑義ニ付「ロルドビーコンスフヒルド」ハ公言シテ曰ク予ガ伯林公會ニ來リシハ土國ノ保存ヲ援護スル為メニアラザルナリ土國ヲ廃滅スル為メニアラザルナリト定メ又「バルカン」山脈南「ボルガリヤ」州ノ境界ハ（ママ）數ケ所ヲ土國ニ渡シスルヲ得セシメ且ツ守兵ヲ置クコトヲ認可セリトノ説ハ真ナリ此疑義ニ付如何ノ所置ヲ為スベキヤヲ尋問セラレタリ「ボルガリヤ」疑問ノ評議ヲモ明日ハ多分結末ヲ定メ防護ニ便ナル地ヲ與ヘスンバアル可カラズ若シ魯國此要求ヲ兼諾セザルニ於テハ公會ハ其功ヲ奏セズシテ解散スベシ

境ヲ定メ防護ニ便ナル地ヲ與ヘスンバアル可カラズ若シ魯國此要求ヲ兼諾セザルニ於テハ公會ハ其功ヲ奏セズシテ解散スベシ

依テ魯國全權使等ニ付如何ノ所置ヲ為スベキヤヲ尋問セラレタリ「ボルガリヤ」疑問ノ評議ヲモ明日ハ多分結末ヲ定メ

同七五日

伯林二十四日公會ニ於テ「ボルガリヤ」疑問ニ付魯政府ヨリ申シ立テタル條ハ左ニ拘載スルガ如シ

第一土兵ヲ以テ「バルカン」山脈ノ南腹ヲ守領スルヲ得ルコト

第二「ソフヒヤ」郡ハ「ボルガリヤ」候國ニ加入スル
事
第三今度自治州政ヲ得ベキ「ボルガリヤ」南半州
ニ於テ土政府ハ其守領ノ兵ヲ置クヲ得サル事
第四「南ボルガリヤ」州ハ「ボルガリヤ」候國ノ境ヲ「バルカン」山ノ要害數ケ所ヲ土國ノ手ニ渡サンカ是非ナク其意ヲ狂ヒ之レヲ承諾セレト雖此ノ疑問ハ明日會議ノ席ニ於テ商議ニ掛クベシ
伯林二十三日「ボルガリヤ」南半州ハ東ヨリ黒海ニ達スル
ドモ南半州ニ自治州政ヲ興ヘ確固タル保証ヲナシ且ツ同州内ニ於テ土國ノ兵ヲ置カズシテ土地ノ民兵ヲ備ヘシムル事ヲ承諾セザルベシ

同七六日

伯林二十四日「ノルドドイチシアルゲメイ子ツアイツング」新聞ニ龍動ヨリ書簡ヲ載セテ曰ク頃日「グローブ」新聞ニ於テ英魯二國一致ノ公書ヲ公布セリ其出所ヲ尋ヌルニ是レ全ク在英魯公使館ノ下屬官等カ金銭ニ迷テ不正ノ心ヲ起セレヨリ生ゼタルナリ右公書ヲ公布スルニ至テハタル罪人ハ魯人ニテ新聞紙ノ通信者ナリ渠レ恐ラクハ此ノ外モ魯國ノ利益ニ關ル

ベキ報知ヲ請新聞ヘ通告シタルモ知ルベカラズ兎角通信者タルヲ以テ同館下屬官等ノ信用ヲ得居タリシガ遂ニ渠等ト便リテ一大公書ノ寫ヲ取リ出スニ至レリ素ヨリ是等ノコトハ政界ニ關係アリテ為タルコトニアラズ只公書ヲ盜取リタルコト而已ナリ然レ何レニモセヨ下屬官等ノ不注意ト魯人通信者ガ其ノ本國ヲ思ハザル不埒ノ所業ヨリ生シタルコトナリトス云フ

龍動二十五日魯政府ガ「バルカン」山ノ要害數ケ所ヲ土國ニ渡スコトヲ承諾シタルヲ以テ「ソフィヤ」府並ニ「リフニヤ」郡ノ疑問ニ至ッテハ各議員モ魯政府ノ意ニ抗セザルコトニ決セリ故ニ古地方ハ「ボルガリヤ」侯國ノ版圖ニ入ルナルベシ

伯林二十五日各議員ノ勉勵実ニ非常ノ點ニ達スト又東邦ニ関係アル各國ヲシテ和合セシメントノ件ニ就テモ亦タ大ニ其功ヲ奏セリ各全權使モ亦タ互ニ能ク彼我ノ情ヲ酌酌シ強テ自家ノ要求ヲ主張セズト是ノ如ク公會ニ於ヘテ事務ノ進歩スルヲ以テ各全權使等モ大ニ滿足ノ色ヲ見ハセリ土國全權使ト雖ドモ亦タ然リ之レ其ノ兵ヲ以テ「バルカン」山ノ要害數ケ所ヲ守領スルヲ得ルヲ以テナリ魯政府モ其所願ノ通リ「ソフィヤ」府並ニ「リフニヤ」郡ヲ「ボルガリヤ」侯國ノ版圖ニ入ルコトヲ得ルヲ以テ大ニ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3

議長トハ公會ノ議長ニテアルヲ」ヨリ以下倣之

其面目ヲ改メタリ

同七月七日

伯林二十五日第六ノ會議ハ本日午後二開キ五時比ニ終リタリ「プリンスガルケヤコア」ハ不快ナルヲ以テ其席ニ出ズ今日議長ハ「キリシヤ」會議ノ席ニ於テ同國ノ外務卿ニ通シテ曰ク「ロシア」ト關係ニタル疑問ヲ議スルトキハ「キリシヤ」國ノ權利並ニ利益ヲ保護スル為ノ同國ノ全權使ヲ公會ノ席ニ加ユベシト、土國ノ全權使ハ大疑問ノ起リシ節ハ重ニ黙止シテ和ヘ居ルコトタシ南「ボルガリヤ」ニ地方鎮(ルメリー)兵ト名ッケ度旨ヲ言出シタリ且ツ士官ヲ撰ブノ權ハ土政府ニ有シ「ロシア」ハ「ボルガリヤ」ヲ自治ノ權(オートノミー)アリ「エゼリユス」州ニ自治ノ權ヲ與エルノ疑問ハ次ノ會議ニ於テ起ルベシ、土政府ハ「ヤニナ」地名ヲ本ノ位置ニ置カンコトヲ望ミ「ギリシヤ」政府ハ之レヲ同國ニ合併スルヲ當然ナリト論ス併シ此ハ未タ會議外ノ論ニシテ公ケナルニアラズ同二十六日ノ報ニ第七ノ會議ハ本日午後二時ニ開キ四時半ニ閉ケタリ「プリンスゴルチヤコア」ハ本日ノ會議ニ出席セリ

龍動二十六日伯林ヨリ

土國内ニ魯ノ兵ヲ置クノ期限ハ「サンスステファノ」和約後九ケ月トアルヲ限ルベキヤニ同意ノ報ニ各國全權使等ハ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3

セリ「ボルガリヤ」ノ疑向ハ多分異論ナク沿マルベシ然ルニハ欧州ノ調役等直ニ境界取リ定メノ事務ニ取掛ルベシ

雑報二十五日「ポリチシ」ニ於テ一昨日魯兵トノ間ヘ「ブカレスト」ヨリノ「ローマニヤ」領「ベスサラビヤ」内「ボルグラード」ニ於テ一戦ヲ生ジ之ニ依リテ「ローマニヤ」兵ト戦ヲ生マニヤ」政府ハ魯ノ総督ヘ厳シキ難問(プロテスト)ヲ出ダセリ、仏、伊政府ハ「ベスサラビヤ」一件ニ付テハ魯國ト直掛合スベシト「ロー マニヤ」ヘ勧メレニヨリ「ブカレスト」ニ於テハ人心甚タ望ヲ失ヒレ形勢ナリ

同二十八日

伯林二十六日「プロビンシ」新聞ニ前ノ一週ハセレヲメテ事務大ト進ルカン」半島ヘ新國ヲ起スコト並ニ「ボルガリヤ」侯國此ノ後政事向ノ件ニ付テハ決議ニ及ベリ、各政府ハ互ニ勘弁シテ難事ヲ醸サス和平ヲ望ムニヨリ遠カラス「ボルガリヤ」一件ニ付テ欧羅巴ノ大安ニ為メニ至ルベシ、今日ノ會議ハ多分異論ナク沿マル終リ明日モ多分同件ヲ引続キテ議スベシ、東ト南北トノ「ボルガリヤ」境ハ未タ決定スベレニ「ボルガリヤ」国ノ境ヲ取定ルベキ欧州ノ調役(コンミセリー)ハ風説ニ拠レバ已ニ人撰シ整ヘリトニ「ダニエーブ」並ニ北「ボルガリヤ」侯国ノ諸名場ハ取毀ツコト

ニ決セリトノ説アリ、「ボ
付キテハ其ノ候ヲ撰フ
ニ付猶會議ニ於テ引続
ニヤ」ヨリ會議ニ出シタ
ヲ記セリ
第一現下「ローマニヤ」領
クベカラズ
第二「ローマニヤ」領内ヲ
サントルベン
第三百年前ノ権ニ基ツ
並ビニ「ダニューブ」
ベン
第四此度ノ戦場ニ出シ

ルガリヤ」候國ノ事件ニ
ト等其外些細ノ事務
キ評議アルベシ、「ロー
メモランテュム
ル參考書ニ左ノ五ケ条
肉ヨリ一寸ノ地ヲモ割
魯兵ノ通過スルヲ許
キ「ローマニヤ」國ハ諸島
河口ヲ蛇島共更ニ領ス
タル兵數ニ應シ相当ノ

償金ヲ得ベシ
第五「ローマニヤ」國ハ此度公ケニ獨立國ノ認可
ヲ受ケ中立國ト為
同二十七日「ギリシヤ」政府ハ議長ヨリ「ギリシヤ」
國ノ利益並ニ民権ヲ保護ノ為メ會議ニ出席ス
ルコトヲ許サレタル通達ヲ得タルヒヨリ在伯
林公使ヘ全権訓状ヲ遣ハスベン
維納二十六日「ボルチル」レスポンデンツ」新
聞ヘ君士坦丁府ヨリノ報ニ土政府ハ黒海ヨリ
「サンステファノ」ヘ赴クル魯兵並ニ兵糧船ノ「ボ
スフオリユス」峡ニ入ルヲ禁セリ

同十九日

伯林二十八日過日公會ニ於テ魯政府ノ立案即

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3

ケ「ソフヒヤ」郡ヲ「ボルガリヤ」候國ニ合併セシト
ノ件ヲ評議セシトキ魯國全權使等ハ「ロルドビ
ーゴレスフヒルド」並ニ「コーントアンドラレ
ー」ノ抗論ニ對シ答テ曰ク若シ各國此ノ立案ヲ
兼諾セザルニ於テハ我輩ハ不本意ナガラ公會
ノ席ヲ立退カザルヲ得ズト是レ「ソフヒヤ」郡ハ
將來「ボルガリヤ」候國ノ
レバナリト因ツテ「コー
ニ之レニ同意セリ「ビー
ドラレー」ガ同意セタル
ヘ英ハ與ト同心協力ノ
ニ「アンドラレー」ニ次テ
ル ニ至レリ

又曰ク「コーントアンド
ガリヤ」ニ達スル鉄道ヲ
タサレタリ此ノ鉄道線
「セルフヒヤ」ヲ突通シ「ニ
ア」ヲ経テ現在ノ土國
ノナリ「セルフヒヤ」ハ「サ
ウテ定メタルヨリモ尚
ロムルヲ得ベシ即テ「ニ
「ウラニヤ」モ「セルフヒヤ」
フ

「ボルガリヤ」候ハ同國住
メテ其ノ會議ノ席ニ於テ
ベシ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3

伯林二十七日「ホルガリ
ハ公會ハ「セルフヒヤ」並
境ニ付評議ヲナスベシ
於ヘテ其威勢ヲ施ドコ
タリ是ニ公會ニ於ヘテ
ルノ一端ナリ、ベスサラ
同州ノ一部「キリヤ」マデ
マニヤ」ノ有ニ置クベシ
龍動二十八日君士坦丁
ント」ヘノ電報ニ曰ク駐
ビーケ」ガ今朝七時ニ「サ
セラレタル後ケ直チニ
會議ヲ開ラキ墺国ハ兵

露国ハ「ダニユーブ」河ミ
サバルベシト言ヒテ
事ノ捗リ容易ナラシム
一件ニ付露政府ハ
要求シ「スリナ」ハ「ロト
ヨリ「ルーマニア」ニアゲ
土國澳ノ大使「コーンスト
フェットバシヤ」ヲ尋訪
玉帝ヲ議長トシテ諸卿
ヲ以テ「ボスニヤ」及ヒ「ヘ

ルセゴウイナ」ヲ領守ス
府ハ伯林ニ在ル其全権
地方ヲ墺兵ヲ以テ領ス
トニ抗論スベシト

ル期限ノ定マリナキコ
ノ件ヲ議シタリ、土政
使等ニ令シテ曰ク右ノ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 413-3